

目標達成計画

作成日: 平成 25年 5月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	推進会議では、報告・情報交換はあるものの、実際のサービスの結果につながる事は少ない。	認知症に対して理解を得る事ができ、地域住民等と、どんな些細な事でも話し合える関係をつくる事ができる	定期的にセミナー等を開いたり、地域の行事に積極的に参加し、ホームの実際を、再度広めて理解を得る	12ヶ月
2	6	拘束しないケアの実践で、玄関扉の施錠については安全確保が難しく、現在も短時間のみの開錠になっている	日中、全ての扉を開錠する事ができる。開錠時には、安心して出入りする事ができる	1階事務所を使用中は、玄関を開錠しておく(事務所からは、玄関扉が見える為見守り可能)又外部との接客時には、できるだけご利用者と共に対応し、開放的な時間を提供する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。